

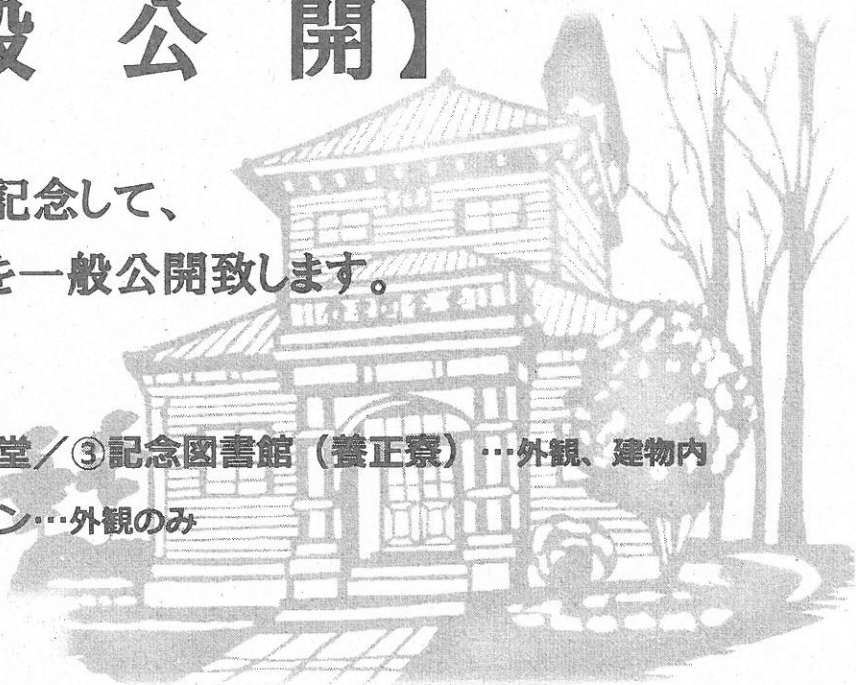
栃木高校登録有形文化財

【一般公開】

栃木県誕生 150 年を記念して、
栃木高等学校の旧跡を一般公開致します。

【公開場所】

- ①記念館（御聖蹟）／②講堂／③記念図書館（養正寮）…外観、建物内
④県庁堀／メモリアルゾーン…外観のみ

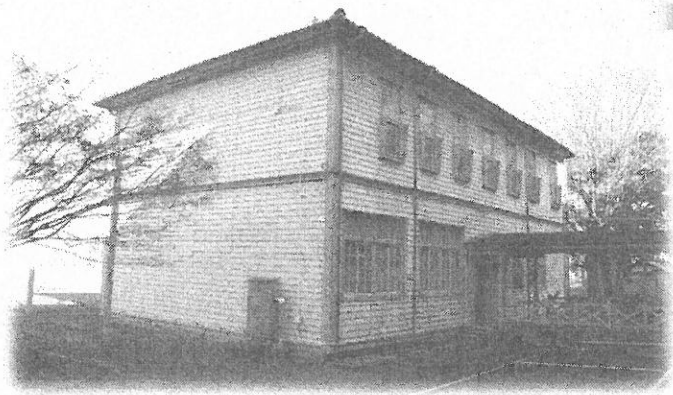


■日時

令和5年 6月11日（日）

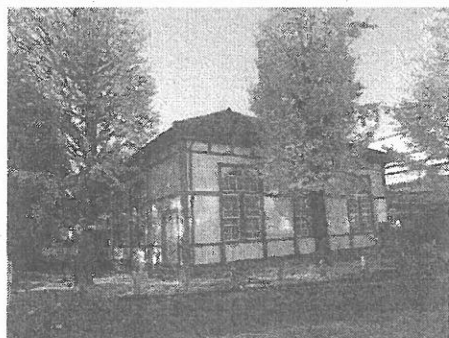
10:00～15:00

事前の申し込みは必要ありません。
栃木高校正門で受付をした後、各自
ご自由に、ご見学ください。



①記念館（御聖蹟）

明治29年本校創立の年に建立。明治天皇、大正天皇の
行在所となる。平成12年文化庁登録有形文化財登録。



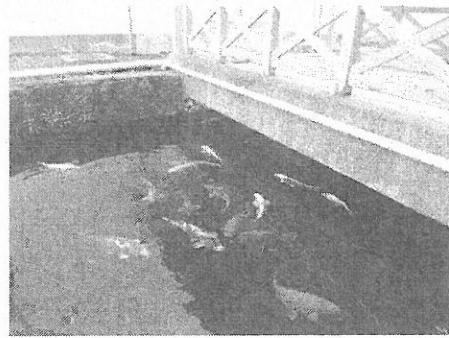
②講堂

本校2番目に古い建築物。室内には
歴代校長の肖像画が掲げられている。
平成10年文化庁登録有形文化財登録。



③記念図書館（養正寮）

東宮皇太子（後の大正天皇）が明治43年
来校記念として大正3年に建てられた。
平成10年文化庁登録有形文化財登録。



④県庁堀

本校を囲むようにはり巡らされている
総延長1260mの旧県庁堀。昭和47年に
市指定の文化財となり、平成7年に復元。

■主催
■連絡先
※駐車場

栃木高等学校 社会部・史学部

栃木高等学校 地歴公民科 阿部治 ☎0282-22-2595

FAX 0282-22-2534

南門（正門の西側）より入り、南駐車場をご利用ください。

栃高の旧跡



栃木県立栃木高等学校

制作 栃木高校社会部・史学部
協力 栃木高校写真部・書道部
発行 栃木高校同窓会
令和4年3月1日



栃木高校があるこの地には、明治4(1871)年、
栃木県庁が設置され、庁舎を取り囲む形で県庁堀がつくられた。
しかしその後、県庁は宇都宮に移転され、県庁跡地の北端に明治29年本校が
栃木県尋常中学校栃木分校として創立された。校名は、「栃木中学校」から、戦後「栃木高等学校」に改められた。
現在、敷地内には3つの登録有形文化財に登録されている建物をはじめとして、いくつかの史蹟が存在し、
120年を超える本校の歴史と文化を漂わせている。



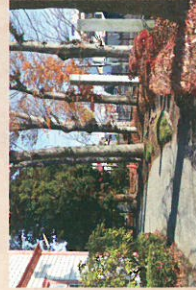
1 講堂



2 正門



3 記念図書館



4 メモリアル
ゾーン



5 県庁堀



6 記念館

記念館（御聖蹟）

明治29年本校創立の年に建てられた最古の二階建て建築物。寄棟、棧瓦葺で、正面中央に玄関部分を張り出し、外壁を下見板張ペンキ塗として、規則的に上げ下げ窓を並べた比較的質素な建物である。

当初は、講堂、校長室、事務室などに使用されていた。創立間もない明治32年、近衛師団北関東大演習の折、改修されて明治天皇の行在所となる。さらに、大正7年の陸軍特別大演習が行われた際には本校に大本営が置かれ、その折りにも大正天皇の行在所となり、現在の間取りができあがった。

創立百周年を期して平成8年、同窓会会員のご協力により全面改修が行われた。現在、階上は各室とも復元され、内部は本校の歴史を物語る資料や漢籍の展示室になっている。本校の歴史を象徴するこの記念館は、平成12年に文化庁の登録有形文化財として登録された。



記念図書館（養正寮）

東宮皇太子（後の大正天皇）が明治43年に来校したのを記念し、大正3年に建てられた。正面にアーチを用いた大きな玄関部分を張り出しているのが特徴的な建物である。一階は図書室、二階の畳敷きの大広間は同窓会の集会室として使用されていたが、昭和10年階上の和室は「養正寮」と名付けられ、校長講話、漢籍素読会などが行われるようになった。その後、昭和32年に本館三階に現在の図書館が設けられるまで、図書館として使用された。

二階の和室は、茶道部、囲碁将棋部の活動をはじめ小会議室として使用され、一階は第2図書館となり、その後自習室として利用されてきたが、現在、老朽化により使用していない。平成10年に文化庁の登録有形文化財として登録された。



講堂

明治43年に落成した本校で2番目に古い建築物。現存する3棟の中では最も本格的な洋風建築であり、天井には漆喰装飾が施され、特に演壇廻りの飾り柱を用いた洋風装飾が特徴的である。入学式、卒業式をはじめ各種の行事に使用されてきた。昭和36年、第1体育館が完成したことにより、全学的な式典集会は体育館で行われるようになったが、現在も学年集会や同窓会総会等はこの講堂で行われている。

昭和61年外壁を塗装し、床を張り替え、装いも新たに変わった。室内には歴代校長の肖像画が掲げられており、豪華なシャンデリアとともに当時の雰囲気は今に伝えている。昭和57年に記念図書館とともに日本建築学会により貴重な近代建築との選定を受け、平成10年に文化庁の登録有形文化財として登録された。



県庁堀

本校を囲むようにはり巡りさらされている総延長1260mの旧県庁堀。県庁造営の際に、巴波川からの押水の被害を防ぐために県庁を囲むように作られた。本校設立後も、校庭と校舎の境に東西に130mの堀が残され、湧き水が流れていた。しかし、授業や部活動で支障をきたすことから、昭和35年頃その大半が埋め立てられた。

旧県庁堀は、昭和47年に市指定の文化財となったこともあって、平成7年に復元された。この年は本校創立99周年にあたり、それを記念して生徒会によって99匹の鯉の放流が行われた。それ以降、本校は校内に鯉のいる堀が流れる全国でも珍しい学校となっている。

